

ほうこん

題字・清水英夫

GALAC・7月号・付録
2013年7月6日発行(毎月1回6日発行)
昭和43年3月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL (03) 5379-5521 / FAX (03) 5379-5510
ホームページ <http://www.houkon.jp/>
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・橋本 隆

第50回ギャラクシー賞 入賞作品決定

—4月理事会報告—

2013年4月30日、4月理事会が開催された。

1. 委員会活動報告

◇出版事業委員会 飯田編集長

・4月16日に編集会議を開催した。7月号と8月号はギャラクシー賞の発表と詳報のため、時間的な余裕があるので、これから半年分の企画を話し合った。4月号から連載が新しくなってデザインの詳細などを行って少し落ち着き、編集委員会としてもこれからの方向性をディスカッションしながら進めていくところで、理事の皆さんも感想ご意見があればいただきたい。

・7月号の特集は「決定！第50回ギャラクシー賞」。表紙は新垣結衣さん。ザ・パーソンは松永真さん。

◇選奨事業委員会 藤久委員長

〈テレビ委員会〉 丹羽委員長

・4月22日に選考会を開催して第50回ギャラクシー賞入賞作品を決定した。特別賞は「タモリ倶楽部」30年続いているので、この機会に特別賞に選出した。個人賞は堺雅人さんに決まった。

〈ラジオ委員会〉 桜井委員長

・4月10日に定例会を開催した。聴取したのはエフエム新潟の「SOUND SPLASH」で少し構成に工夫がほしいとの意見が出た。

・4月24日に最終選考会を開催して入賞作品を決定した。今後のパトナリティ、ラジオ制作者も学ぶところがあるものとして「小沢昭一さん追悼番組」を特別賞に選出した。DJパトナリティ賞はピーター・バラカンさんに決まっ

た。最終選考会は深夜に終わった。

・今回ラジオ部門に特別賞を設けることについて意見を交わした。

↓理事会として了承。

〈CM委員会〉 五井委員長

・4月18日に定例会を開催した。

・4月23日に選考会を開催して入賞作品を決定した。今年は小粒で票が割れた。シリーズ作品が多いので、本数制限が必要かもしれない。今後、委員会で議論していく。

〈報道活動委員会〉 鈴木委員長

・4月20日に選考会を開催して入賞作品を決定した。今年はケーブテレビの参加が多かった。

・今年も「制作者と語る会」を開催する予定だが、具体的なことはこれから決定する。

◇企画事業委員会 中島事務局長

・3月に開催したシンポジウムの決算は約28万円の黒字だった。前年よりも参加者は増えたが、地方からの講師に交通費を払ったことで若干黒字が少なくなった。

◇マイベストTV賞プロジェクト

滝野プロジェクトリーダー

・年間グランプリの投票が4月24

日から始まった。締め切りは5月13日で、39本のノミネット作品から5本を選んで投票してもらう。

2. 50周年委員会報告

藤田委員長

50周年事業は2012年度と2013年度の予算で進めているが、事業の途中経過を報告する。記念式典680万円、記念出版950万円、トロフィー805万円、データベース240万円、50周年記念イベント740万円、50年史280万円で、総予算としては3695万円。2012年度は1435万円、2013年度は2260万円の支払い見込みとなる。500万円は積立だが、それ以外は志賀基金から支出する。承認をお願いしたい。↓了承。

①50周年記念式典 橋本専務理事

嶋田理事、入江理事

記念式典の冒頭に紹介する会の歴史は10分程度になった。

・前回の理事会では30分程度のことを制作予定としていたが、とにかく昔のことを掘り起こして、できるだけ映像化する、証言を取るなどしている。

・会の歴史を知る野崎茂さんや松尾

羊一さんにインタビュして、手間ひまかけて作っている。約40分になる予定だが、式典で上映するのは初期の部分になる。

・贈賞式の司会は赤坂泰彦さんと水野晶子さんに決まった。

②50周年記念出版 藤田委員長

2000部印刷して、1500部寄贈、500部市販の予定。5月25日に完成の予定。

滝野理事より電子版の作成について質問があり。↓今後検討。

③トロフィー 橋本専務理事

試作品を微調整しているところ。デザインナーの松永真さんに4セット贈呈する。

④データベース 川喜田理事

6月3日オープンの予定で作成中だが、バグが多いので、現在調整中。第50回の作品の反映は発表から1か月後を予定している。

⑤50周年記念イベント

橋本専務理事 藤田委員長

チラシの印刷が出来上がった。5月10日から申し込み受付を始める。

一部のイベントの講師の宿泊先は都市センターホテルの予定。

3. その他

入会

陶山賢治さん

退会

三浦辰治さん

次回以降の理事会

5月23日(木)

6月16日(日)

7月24日(水)

【出席】音好宏、橋本隆、上滝徹也、小田桐誠、藤田真文、飯田みか、藤久ミネ、丹羽美之、桜井聖子、五井千鶴子、鈴木嘉一、滝野俊一、入江たのし、川喜田尚、坂本衛、嶋田親一、中町綾子、稗田政憲、中島好登

会議記録

〔4月〕

1日 (選奨) テレビ月評会

10日 (選奨) ラジオ定例部会

16日 (選奨) 出版編集委員会

19日 (選奨) CM定例部会

30日 理事会

第50回ギヤラクシー賞 贈賞式開催迫る

—5月理事会報告—

2013年5月23日、5月理事会
が開催された。

1. 委員会活動報告

◇出版事業委員会 飯田編集長

・2013年7月号は校正作業は本日終了した。

・5月14日に編集委員会を開催して10月号の特集は「地デジ化は成功だったのか」に決まった。

・8月号の特集は「続報！第50回ギヤラクシー賞」。表紙は北村有起哉さん。ザ・パーソンは藤田潔さん。

◇選奨事業委員会 藤久委員長

〈テレビ委員会〉 丹羽委員長

・大賞は「NHKスペシャル 追跡復興予算19兆円」。優秀賞は「標的の村」池上彰の総選挙ライブ「特集ドラマ ラジオ」。

・5月2日に4月度の月評会を開催した。4本の月間賞についての説明

5月度の月評会は31日に開催する。

〈ラジオ委員会〉 桜井委員長

・大賞は「日々感謝。ヒビカン」。

優秀賞は「40才のタンカーユーエー」
「橋爪功ひとり芝居 おとこのはなし」
「原発作業員が語る2年」。

・5月の定例会は27日に開催する。

〈CM委員会〉 五井委員長

・大賞は本田技研工業「負けるもんか（プロダクト篇）」。
優秀賞は赤城乳業「BLACKシリーズ」、東海テレビ放送「交通事故で、死なない。死なせない。」。

・20日に定例会を開催した。

〈報道活動委員会〉 鈴木委員長

大賞は「太平洋核実験被害の真実を伝える『放射線を浴びたX年後』映画自主上映を含む報道活動」。優秀賞は「復帰を知る」南相馬市小高区の農地復旧における一連の報道」。

（選考、作品内容の詳細は「GALAC」7月号に掲載）

◇企画事業委員会 碓井委員長

特に活動はなし。

◇マイベストTV賞プロジェクト

滝野プロジェクトリーダー

年間グランプリがフジテレビの「鍵のかかった部屋」に決まり、本日発表した。プレゼンターも決まったが、Web会員は5月12日現在6185名で、投票は3000弱の投票だった。ベストテンはすべてジャーニズ関連の番組だった。

2. 50周年委員会報告

藤田委員長

①50周年記念式典 橋本専務理事
演出担当の嶋田理事から昨日入院したので、後任を日本国際賞の演出をしている奥田保さんに依頼したいと電話があった。承認してほしい。↓了承。

明日ウエスティンホテルで奥田さんを含めて演出関係者の打ち合わせする予定。

当日は山田太一さんは八千草薫さん、NNDキュメントは久米明さん、テレビマンユニオンは永六輔さんがゲストに決まった。

② 50周年記念出版 藤田委員長
見本が本日完成して、納品された。

③ トロフィー

中島事務局長と稲田雅子さんが9日
に高岡へ検品に行った。トロフィー
の納品はギャラクシー賞当日の予定。

④ データベース 中島事務局長

仮オープンしているので、アクセス
して意見をください。

⑤ 50周年記念イベント 橋本専務理
事 藤田委員長

5月10日から申し込みが始まったが、
集客が思ったほど伸びていないので、
理事の方々に協力をお願いしたい。

上滝理事より、学生を集めたほうが
良ければ集めますとの申し出がある。

各部門委員長は情報を共有するため
6月上旬に会議を開く予定。

3・第50回ギャラクシー賞贈賞式

中島事務局長

29日にホテルで台本読み合わせと演
出会議を行う。また、受賞者もほぼ
決まった。

当日のスタッフは受付は外部の会社
に委託する。受付以外のスタッフを
正会員を中心に構成する。今年は地
下2階が全て会場となり、地下1階
が控え室、スタッフルームになる。

志賀信夫賞の藤田潔さんは中嶋常幸
さん、TBS「調査情報」は沢木耕
太郎さんがゲストに決まった。

4・その他

退会

丸茂巧さん

次回以降の理事会

6月16日(日)

7月24日(水)

9月24日(火)

【出席】音好宏、橋本隆、上滝徹也、
藤田真文、飯田みか、藤久ミネ、確
井広義、丹羽美之、桜井聖子、五井
千鶴子、鈴木嘉一、滝野俊一、小林
毅、坂本衛、田中早苗、中町綾子、
稗田政憲、中島好登

会議記録

【5月】……………

2日 (選奨) テレビ月評会

14日 出版編集委員会

20日 (選奨) CM定例部会

23日 理事会

27日 (選奨) ラジオ定例部会

31日 (選奨) テレビ月評会

新入正会員自己紹介

放送現場の後輩たちへエールを！
陶山賢治

思えば、いい時代だった。証券会
社に電機メーカー、銀行などに内定
していたのに、全国紙の記者を選ん
だのは、初任給が少しだけ高かった
から。それでも、あの時代、「地方
版を解放区に！」と、随分、肩肘張
って駆けまわっていたような気がす
る。

40代で放送に転じ、活字と電波の
懸隔に驚いた。自由闊達に見えてい
た放送界が、意外にコンサバである
こと、内向きであること、その日暮
らしであること…等々。

いつの間にか、その世界に慣れて
しまつて、それはそれで、居心地は
悪くないのだが、それにしても、昨
今の記者たちの「伝えること」への
執着のなさには、溜息をつくしかな
い。言葉がどこまでも軽くなり、追
従笑いのような記者たちの表情が透
けて見えてしまう。橋下なんぞに「誤
報のせい」と連発されて、悔しくは
ないのか、と思う。

放送の後輩たちへエールを送るこ
とができれば、と願っている。